

地区防犯パトロールカー貸出し

総務課

Q パトロールカーの貸出し範囲は。

A 環境パトロールや事務連絡、そして地区防犯パトロールに貸出したい。

Q 防犯灯の設置状況は。
A 昨年度は712灯更新要望があり、うち385灯を設置した。残り327灯は今年度予定していたが、新たに106灯追加要望あり、今回補正で433灯工事したい。

消防署

の増収になる見込み。
A 町立公民館については警察の際に指示指導している。

町立公民館や集落公民館の火災予防指導は。

Q 立山町税条例改正に伴い税収はどう変わるか。
A 地方自治法第179条第1項の規定により、立山町税条例の一部を改正する。町民税の均等割が一律に2,000円から3,000円になる。対象者が1万人であり、約1千万円の増収が見込める。配偶者分は、対象者2,800人であり、17年度は1/2で425万円、18年度で850万円



総務常任委員会

地域の課題を積極的に論議

立山マリモを県の文化財に

文教厚生常任委員会

健康福祉課

Q 機能訓練事業の備品購入費で「脳卒中のリハビリ」とは、どのような物を購入するのか。
A 機能回復用を使用するパランスシートと、今年度から言語訓練も入れたので安全吹き矢セット等を購入したい。

社会教育課

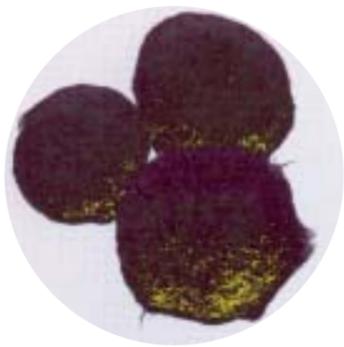
Q 文化財保護事業で平面図作成委託料の内容について。
A 立山マリモ生息地の平面図作成であり、県の指定文化財に申請するためのものである。



立山マリモ生息地(野口・広明正一宅)

学校教育課

Q 小学校建設事業で物件補償調査委託料の内容について。
A 7月8日に家屋評価をし金額等の提示をして了解が得られれば12月頃には物件補償の予算を計上したい。



学校給食に地元の食材を

産業建設常任委員会

建設課

Q 立山町みどり維新の景観まちづくり条例制定の中に、「地域の宝の指定等」を規定してあるが、教育委員会で文化財指定されているものもあり、そのかわりには地域の宝も指定でき、対象を幅広く考えている。

商工観光課

Q 7月に韓国の江北区(カンブク)から訪問団が訪れる。隣国であり交流を深めるためにもっと先行投資をしたい。

A 立山の観光を韓国の皆さんに十分知ってもらい、組織ぐるみの形で観光客を増やすことを考え、なるべく費用をかけない形で交流を図りたい。

農林課

Q 学校給食ふるさと食材活用拡大事業は、何を栽培し、委託先はどこか。
A 必要な野菜を農家の方々に栽培してもらい、町の商業協同組合に委託し事業を推進したい。

林道長倉線は、平成17年度以降少なくとも3億円はかかる。今の事業ペースでいくと、あと10年はかかると思うが、一日も早く全線開通できるよう努力したい。



韓国での歓迎会(4月12日)

議会運営委員会

資源と人材活かした清見村

岐阜県清見村... 6月29日~30日



「パスカル清見」で研修

「広い村だが、ありそうでないものが5つある。スキー場・ゴルフ場・駅・ダム・温泉(松葉助役)ということで、これといった特徴はないが、飛騨牛とトマト・ホウレン草などで農業基盤を確立して活力を維持し、出稼ぎのない村をめざしている。そして、農村風景を保持して、その活用に努めていると説明を受けた。さらに、都市生活者との交流を主体とした地域活性化を進めるために「パスカル清見」が建設された。これは、

行政視察報告

清見村は高山市の西に隣接する山村で、高山駅から車で15分ほどの位置にある。総面積259.2km²、西日本4番目の広さの村に2650人の住民が暮らしている。昭和30年には4753人であった人口が、昭和55年には2351人まで減少して過疎化が進み、集落機能が停滞する恐れが発生した。

この「パスカル清見」は、自治体が主体となって財団法人で運営しているが、黒字経営を行い、毎年4千万円ずつ村に寄付しているという話に驚いた。助役は、「一日一筆の重要性」として一日一枚の手紙が書ける仕事を強調された。「午前中はパソコンに向かい、午後からは外回りをして門を叩かないと新規の客は取れない。回った所に礼状を書く。一日一枚礼状が書ける仕事をすること。小さいことからでもいい、どんなことでもいい、こんなバカなと思うことでも継続することが大切で、清見村の人と地域の生き残りの道である。」と力説された。我が町において少しでも活かしたいと感じた。

- 委員長 村井隆夫
- 副委員長 米田俊信
- 委員 中川光久
- 高嶋清光
- 土肥洋之
- 佐伯靖彦
- 岡本宣宏